

FPまつもと通信

ちょっと得する「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

残暑お見舞い申し上げます。

人生100年時代と最近よく言われます。英国の学者、リンダ・グラットン氏らが書いた「ライフ・シフト」という本で2007年に生まれた日本の子どもは107歳まで生きる可能性が50%ある、とされたのがきっかけとなりよく言われるようになりました。

10～20代で学校を終え、仕事に就いて60～65歳で定年、その後80歳ぐらまで老後を過ごす、というのが今まで一般的でした。

今後は、働く期間や老後のお金など従来と異なる準備が必要になると言われています。



今月号の話題

資産運用ガイド

長期に渡り積立投資をしたら成果が得られるのか不安な方もいるかもしれません。今月は長期間積立投資をしていたらどうなっていたかを検証します。

ちょっと気になるお金のコラム

日本には500円、100円、50円、10円、5円、1円の硬貨があります。では、それぞれを作るのにいくらかかるかご存知ですか？

「会社員1000人に聞く夏休み」調査から（2018年7月 マクロミル）

今月は夏休みを取る方も多いのではないのでしょうか？他の人がどのような夏休みをすごしているのか見てみたいと思います。

一番多いのは「家でゆっくり過ごす」の50%でした。2番目は「お出かけ・旅行」の49.1%、そして「帰省」32.8%、「墓参り」27%、「家族団らん」26.7%と続きます。「たまった家事を片付ける」という人も15.3%いました。

「お出かけ・旅行」の内訳は、「国内旅行（泊まり）」が59.7%、「近場のお出かけ」39.1%、「日帰り旅行」34.1%、そして「海外旅行」13.5%でした。

旅行など出かける場合に重視することとしては、「予算・コスト」が最も多く60.9%、以下「グルメ・おいしいものがある」「のんびりできる」「良い景色・絶景」などが続いています。中には「フォトジェニック（良い写真がとれる）」など最近はやりのインスタ映え、を想像させる答えもありました。

気になる予算ですが、「1～3万円」が最も多く28.2%、次が「3～5万円」24.1%、「5～8万円」10.8%と続きます。「5000円未満」という人も6.1%、多い方では「50万円以上」0.6%でした。

ご家族構成などにより過ごし方、かける費用は違ってくと思いますが、皆さんはどのように夏休みをすごしていますか？



FP 松本相談センター
CFP・IFA（金融商品仲介業）
媚山裕之

〒390-1702

長野県松本市梓川梓856-26

0263-76-1250 090-8741-7358

info@fp-matsumoto.com

<http://fp-matsumoto.com>

2000年からFP業務を行っています。現在は確定拠出年金の導入及び加入者の方のライフプラン相談、保険相談、資産形成支援業務を中心に活動しています。年間で200人以上の方の相談をさせていただいています。特に生命保険は、ちょっと見直すだけで保険料は勿論保障内容も大きく変わります。是非ご相談ください。

ちょっと気になるお金のコラム

貨幣は造幣局で作られる

日本で流通している硬貨は造幣局が作っています。もしかするとあまりなじみのない組織かもしれませんが、オンラインショップもあり、東京オリンピック・パラリンピック記念硬貨など各種記念硬貨も購入できます。

また、博物館や工場見学もあるようなのでご興味がある方は行ってみたいはいかがでしょうか？

東京2020オリンピック競技大会記念一万円金貨幣プルーフ貨幣セット「流鏑馬と心技体」

独立行政法人造幣局HPより抜粋
<https://www.mint.go.jp/>



この1万円記念金貨は12万円で販売しています。記念ですし、コレクターの方にとっては1万円以上の価値があるのだと思います。勿論普段の買い物で1万円として使うこともできます。

最近はポイントや電子マネーを使う機会が増え、硬貨で支払うことが少なくなったかもしれませんが、平成29年度には、約11億4870万枚、金額にして約2663億円の硬貨が作られました。（平成29年度事業報告書）

貨幣の種類	発行枚数	金額
500円	418,232,000	209,116,000,000
100円	544,000,000	54,400,000,000
50円	28,000,000	1,400,000,000
10円	125,000,000	1,250,000,000
5円	33,000,000	165,000,000
1円	480,000	480,000
	1,148,712,000	266,331,480,000

発行枚数は、財務省が、市中の流通状況等を勘案の上、年度ごとに貨幣の製造枚数が決めます。財務省が必要な貨幣の量を決めて造幣局に発注する、ということなのです。

貨幣を作るのにいくらかかる？

貨幣を作るためには原料となる金属や人件費が必要になります。報告書によると原材料費は約45億円、人件費その他に約126億円かかっているようです。

貨幣1枚ごとの製造原価については、国民の貨幣に対する信任を維持するためや、貨幣の偽造を助長するおそれがあると考えられることから、公表しない、としていますが、500円、100円、10円については「貨幣の製造に係る事業の概要 - 財務省（2016年）」に原料費が表示されています。

https://www.mof.go.jp/about_mof/mof_budget/review/2016/270022shiryo.pdf

それによると、500円：5.23円、100円：4.85円、10円：3.41円、です。

5円と1円は原価割れ？！

5円と1円については、加工業者がアルミや銅などの貨幣の原料を円形に加工したものを購入しています。

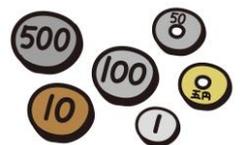
造幣局HPに「落札者の公示」として購入金額が公表されています。

例えば、平成26年6月には、5円用黄銅円形 1,088万枚を48,176,640円で、また、平成26年7月には、1円用アルミニウム円形 6,000万枚を46,980,000円で購入したことが記載されています。

この時のそれぞれの1枚当たりの原料価格は、5円：4.428円、1円：0.783円、これに人件費等を加えたものが実際の貨幣の製造コストになります。

人件費等の総額は報告書に記載されていますが、各貨幣の種類ごとに原材料費以外にどのくらいのコストがかかっているかは計算できません。しかしながら、5円と1円については、原料だけでもほぼ額面金額です。それに人件費などが加わるのでおそらく原価割れ、作れば作るほど赤字、と言うことになってしまうのではないのでしょうか？

日頃何気なく使っている貨幣（硬貨）ですが、このように作られているのです。



確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

積立投資の推移



N社バランスファンドのデータによる（コスト控除後）

	積立合計額	株式75%	株式50%	株式25%
2018年5末	150,000	155,079	153,075	150,929
2018年6末	160,000	164,522	162,611	160,550
2018年7末	170,000	177,883	174,710	171,477

2017年3月から開始した積立投資は右の図表のようになりました。

確定拠出年金のような長期の積立投資で成果を得るためには以下のポイントが大切です。

投資期間に応じた資産配分

積立期間が長い場合には株式の比率を多く、受取時期が近くなったら値動きが小さい債券の比率を多めにする。

大幅に値下がりした場合

積立期間が十分にある場合は、株式への資産配分の増額、掛金の増額を検討する。

株式・債券の特徴を理解して長期継続する。

株式・債券の特徴は以下で確認できます。

2018年6月号、2018年7月号

株式や債券の特徴をよく理解してよく、様々なニュースや情報に惑わされず投資を長期継続することが成果に結びつきます。

バックナンバー：<https://app.box.com/s/v0vbkuljvav2u2qtqs3wkl5nk8pwb1vp>

「商品選択や組合せを決めるにあたり参考になるサイトはありますか？」という質問を加入者の方よりいただきました。

選択している商品がどのようなものか、過去同じ商品を積立投資していたらどうなっていたか気になりますよね。

モーニングスター

<https://www.morningstar.co.jp/>

日本国内は勿論ですが、アメリカでも非常に著名な投資信託評価会社です（もともとはアメリカの会社）。

日本国内で販売されているほぼすべての投資信託のデータを確認することができますから、皆さんが確定拠出年金で利用している投資信託もチェックすることができます。

今月は、自分が利用している投資信託を以前から積立していたらどうなっていたかを見てみましょう。



積立している投資信託の名称を入力する。ここでは例として、マイストーリー、と入力してみます（商品名は操作をわかりやすく説明するためです。適切な商品は投資期間等によって各自異なります）。

選んだ商品の画面に移ります。沢山の情報が掲載されていますが、まずは、この商品を過去から積立をしていたらどうなっていたかの確認をしてみましょう。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド



積立シミュレーションをクリックします。積立期間を選ぶことができます。



これは毎月1万円を15年（2003年～）積立てた場合のグラフです。積立総額は180万円（1万円×12か月×15年）、現在の評価額は約287万円（2018年6月末積立の場合）と約1.6倍になっていたことがわかります。

なるべく長い期間のシミュレーションにする

シミュレーションを見る時のポイントはなるべく長い期間のシミュレーションにする、ということです。短い期間のシミュレーションは数字が良くなりすぎたり悪くなりすぎたりするので参考になりません。期間を長くすることで、リーマンショックのような大幅な下落、そこからの回復、など様々な局面を含むシミュレーションになります。

下落幅に着目する

積立で約1.6倍、一括で約2.1倍なんてすごい、と感じるかもしれませんが。しかしながら大切なのは悪かったときにどのくらい値下がりしたかを確認することです。

この商品の場合は、2007年～2009年にかけて300万円近くから150万円程度まで半分近く値下がりしています。

15年の積立投資で1.6倍、一括投資で2.1倍という成果は、日々の（時として大きな）価格変動に対しての報酬と理解しましょう。

ですから、商品を選ぶときにはどのくらい殖えたか、よりも、悪い時にはどのくらい値下がりしているのか？を確認し、それを受け入れることができるかを自分に問いかけてください。

少し厳しい、と感じるようであれば、株式比率が少ない商品にしましょう。

シミュレーションを見ることで長期的に期待できる成果や値動きの幅のイメージを掴むことができます。

是非一度確認して、**下落時も余裕をもって継続できる気持ちの準備**をしておいてください。

もし、商品選択をせずに預金や年金保険などの**元本確保型の商品**になっている場合には、このようなシミュレーションを利用し投資信託を選んではいかがでしょうか？

参考

価格変動の大きさと長期のリターンの関係は2018年6月号、7月号、で確認できます。

注意点

価格変動とリターンの関係は利子や配当などが期待できる債券や株式への分散投資をした場合に成り立ちます。

お金のこと、年金のこと、保険のこと、 すっきりしたい方、安心したい方は無料FP相談をご利用ください

- ✓ 保険料を払いすぎているか確認したい
- ✓ 自分が加入している保険がどのような時にでるのか確認したい
- ✓ 年金がいくらぐらいもらえるのか知りたい
- ✓ 年金が不安だがどのように準備したらよいか知りたい
- ✓ 火災保険や自動車保険のお得な入り方を知りたい
- ✓ 確定拠出年金の商品選びについて教えて欲しい
- ✓ その他



このようなことで少しでも気になることがある場合はご相談ください。ニュースレター会員の方向けに無料でFP相談を行っています。

ご相談事例

- 昔に入った生命保険を見直して毎月の保険料が大幅にダウン。
- 年金定期便の見方がわかり、具体的に老後資金準備のイメージがつかめた。
- 最近の医療制度や医療技術に合わせた保険に変更でき安心した。

FP無料相談 お申込

ご確認したい項目に、必要事項をご記入の上、ファックスでお申込ください。折り返しご連絡を差し上げます。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 生命保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金定期便の見方 |
| <input type="checkbox"/> 加入生命保険の内容を確認したい | <input type="checkbox"/> 老後資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> がん保険・先進医療保険について | <input type="checkbox"/> 教育資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> 損害保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金商品の選び方 |
| <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 確定拠出年金の商品選びについて |

お名前

電話番号

メール

(ブロック体でご記入ください)

勤務先

お役職

お問い合わせフォームはこちら⇒
<http://fp-matsumoto.com/contact/>



↓ FAX:050-3730-0380 ↓

個人情報の利用目的：当該サービスを提供。当社サービスのご案内